

学校教育目標

「三つの花」を咲かせる西部っ子

にこにこ花 楽しくあいさつができる

ほかほか花 「あったか言葉」をつかう

きらりん花 キラキラと自分らしく輝く

感動をありがとう 世界のラグーマンたち

9月末からラグビーワールドカップ日本大会が始まりました。特に今大会は開催国である日本代表がアイルランドやスコットランドといった格上のチームを撃破し、リーグ戦を4勝してベスト8まで進みました。日本だけでなく世界中が大いに盛り上がっています。



さて、この大会では日本代表や試合そのものだけでなく、開催期間中に起こったいろいろなエピソードが私たちを感動させてくれています。数ある中で二つ紹介します。

一つ目はカナダと南アフリカの試合で、危険なタックルで退場処分となったカナダ選手が、試合後、南アフリカ代表のロッカーを訪問。「謝りたいです。面と向かって謝罪しに来ました」と動機を説明し、謝罪。さらに「今大会の成功を祈っています」と勝者にエールを送ったのです。すると、南アフリカ側は選手の思いに応え歓声とともに大きな拍手。さらに1人の選手は「乾杯しよう」と飲み物を手渡し、反則を受けた選手も握手を求めました。決して悪意のあるファウルであったわけでもなく、選手として不本意な退場だったに違いないでしょう。しかし、それを受け止め、その日の内に相手のロッカールームで謝罪するというのはなかなかできることではありません。ノーサイドの精神（戦いのあとはお互いの健闘をたたえ合う）によって、こういう勇気ある行為が当たり前のように行動できるのかもしれない。

二つ目は釜石市で開催予定されていたカナダとナミビアの試合が台風19号の襲来で中止となりましたが、カナダの選手らは水害にあった釜石市でボランティア活動、ナミビアの選手らは宮古市を訪れ、子供たちや被災者らを励ましに行ったのです。カナダ代表やナミビア代表の行動から、本当に大変な時こそ人は助け合わなければならないと気付かされます。その後カナダのダニエル選手は成田空港で、多くの日本人から「釜石市でボランティア活動をしてくれて、ありがとう」とお礼をされたことに驚いたといいます。試合が中止となり落胆していたにもかかわらず、「感謝されたことで『試合に勝つ』という目的以外の達成感を得た」と言える彼らの心の大きさにも見習いたいものです。

毎日の学校生活に目を向ければ、子供たちは学級でよくけんかをしたりトラブルを起こしたりしています。しかし、けんかをしても最後はお互いに自分が悪かったことを認め、「ごめんなさい」と言うことができれば、また仲直りして一緒に遊ぶことができます。また、不注意で給食のおかずをこぼしたり、水彩のバケツの水をひっくり返したりしたとき、さっと雑巾でふいてくれる友達がいれば、温かい気持ちになります。

学校という集団生活の中で、例え失敗してもそれを認める素直さや、困っている人に手を差し伸べる思いやりの心を育てたいことを、私自身改めて思い起こさせてもらいました。ありがとう。世界のラグーマンたち。

(教 頭 角 川 誠)

たくましく成長する西部っ子たち



1年生校外学習 東福寺野自然公園

秋空の下、元気よく体を動かしてきました。虫捕まえたり、柿を拾ったり秋を感じてきました。

2年生滑川市小学校音楽会

市内7小学校が市民大ホールに集まりました。大勢のお客さんの前で一生懸命に合奏と合唱を行いました。



3年生校外学習 プラント3

お客さんが買い物しやすいように商品をどのように並べているか確かめていました。



4年生校外学習 富山地区広域圏クリーンセンター

大量のゴミが集められている様子を見学し、クリーンセンターのしくみや役割について学習しました。



5年生稲刈り体験

今年も下島の好田さんのご協力ですり刈り行うことができました。収穫の喜びを実感しました。



5年生富山湾岸クルージング体験

滑川漁港から観光遊覧船に乗り、3,000メートル級の立山連峰を眺めてきました。



6年生宿泊学習 立山青少年自然の家 (来拝山登山 野外炊飯等)

来拝山登山では、時折強い風や小雨が降る中、大きな声で互いに励まし合い、歌いながら登山し、参加者全員が登頂しました。

初日の夕飯はカレー。薪を使って火を起し、上手にご飯を炊き、しっかりとカレーを煮込むことができました。昨年の宿泊学習よりおいしいカレーができました。二日目の昼食ではピザを作りました。小麦粉をこねて生地をつくるところから挑戦し、もちもちとしたピザが焼き上がり、お腹がいっぱいになりました。